

# 高齢福祉と介護の 中核的キーパーソンになる！

## Step1 ケアマネジメント力を問う

## 自立支援を基盤としたケアマネジメント力を養う

1日目

10/27  
(木)

講師



東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科

准教授 高野 龍昭氏

龍谷大学文学部社会学部社会福祉学専攻修了。社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を持ち、通算19年間の病院・老人保健施設勤務・居宅介護支援事業所での実践経験を経て、2005年から東洋大学ライフデザイン学部の教員。著書に『これならわかる〈スッキリ図解〉介護保険・第2版』などがあり、新聞・テレビ番組などでのコメント・出演も多数。

9:30-17:00

ウィリング横浜 121-122

## Step2 連携力を問う

## 今、医療との連携の必要性とつながりの方法を探る

2日目

11/8  
(火)

講師



神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科

教授 高橋 恭子氏

社会福祉学博士。医療ソーシャルワーカーとして一般病院、大学病院での実践経験を持ち、その後、大学教員となる。専門は医療福祉、ソーシャルワーク、医療福祉の歴史。保健医療福祉の連携に関する研究を継続的に行っている。著書に『戦前病院社会事業史』などがある。

9:30-17:00

ウィリング横浜 502-503

## Step3 地域支援力を問う

## 現代社会と人の関係性を知り、福祉を推進する

3日目

11/24  
(木)

講師



静岡大学大学院

教授 舘岡 康雄氏

大学卒業後、日産自動車中央研究所入社。1996年よりプロセスパラダイムを提唱し、SHIEN学を開発。国内外で講演多数。モスクワ大学250年の歴史の中で、国のリーダーを育てるエグゼクティブMBAの創立の際、最初の講義と次の講義でSHIEN学が記念講義として取り上げられ、大きな反響を起こす。

講師



立教大学 コミュニティ福祉学部

准教授 飯村 史恵氏

権利擁護活動のフィールドワーク等を背景に、新たな時代に求められるソーシャルワーク実践モデルを追究。豊かで暖かな関係を築くことのできる社会をめざして、社会福祉の立場から、今何を成すべきかを問い続けたいと考えている。

9:30-17:00

ウィリング横浜 502-503

定員：各60名程度

受講料：無料

対象：基礎編既受講者または経験12か月以上の横浜市内地域包括支援センター職員

申込方法：裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでよこはま地域福祉研究センターまでお申込みください。

申込締切：10月21日（金）必着

今日、様々な問題が指摘される日本の介護。高齢者介護へのニーズが飛躍的に増加する中、専門性を備えた、福祉や介護に携わるキーパーソンの養成が期待されています。それは、包括支援センター職員に対する期待といっても過言ではないでしょう。

目の前の人を支えたいと思う「志」と共に、人や社会を捉える視野の広さと知識がなければ、問題解決に導くことはできません。

また、これからの時代は「高齢者の福祉や介護」を「社会や地域の課題」と位置づけて、業務を行うことも必要です。

本研修は、包括職員研修の応用編として、仕組みや制度などを捉え直し、自らのネットワークや支援の在り方を今一度、再確認し、改めて、高齢福祉と介護の中核的キーパーソンになるための知識・情報・実践力を養うことを目的に行います。

## カリキュラム

1日目

10/27

(木)

9:30-17:00

ウィリング横浜 121-122



### 自立支援を基盤としたケアマネジメント力を養う

包括職員に求められるケアマネジメント力とは(高齢福祉の歴史の中で)

- ・ 自立支援を基盤としたケアマネジメントの実践をどうすすめるか
- ・ 介護支援専門員(介護保険制度)&生活支援コーディネーター(総合事業・生活支援サービスとともに考えるケアマネジメント)
- ・ ケアマネジメント力を向上させるために包括職員が行うこと

2日目

11/8

(火)

9:30-17:00

ウィリング横浜 502-503



### 今、医療との連携の必要性とつながりの方法を探る

- ・ ソーシャルワークと医療
- ・ 社会福祉と医療の境界と越境
- ・ 在宅と施設・・・選択と支援のための医療連携 医療連携拠点・病院MSとの連携法

3日目

11/24

(木)

9:30-17:00

ウィリング横浜 502-503



### 現代社会と人の関係性を知り、福祉を推進する

現代社会の人や組織の在り方について再考

- 午前>・現代社会における人や組織の関係性の再構築
- ・ お互いのチカラを引き出しあう関係の構築法

午後>・包括が促す、地域の相談援助集団の成長と連携

- ・ 個の課題を解決できる地域のチカラ向上に導く方法

## 受講申込書

申込締切  
10月21日(金) 必着

この申込用紙にてFAXでお申込み下さい。 **FAX : 045-228-9118**

所属職場名称

所在地 〒

TEL :

FAX :

申込者氏名(ふりがな)

男  
・  
女

年齢  
歳代

職種・役職

福祉職 / 看護職経験年数

現職経験年数

年 月

年 月

E-mail アドレス

@

※ここに記載された個人情報は、本事業以外の目的では使用しません。

【申込み・お問合わせ先】 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター (担当: 塚原・佐塚)

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号 <http://yresearch-center.jp>

Tel : 045-228-9117 Fax : 045-228-9118



Yokohama Community Development Research center